

「公印省略」

2小郡第3号-29
令和2年8月17日

各高等学校長 殿

福岡県立小郡高等学校
校長 幾竹浩子
(福岡県高等学校体育連盟会長)

令和2年度
福岡県高等学校空手道新人大会北部・筑豊ブロック予選会
兼 全九州高等学校空手道新人大会福岡県北部・筑豊ブロック予選会
開催について（通知）

標記のことについて別紙要項のとおり開催しますので、ご連絡いたします。

大会開催実施要項

- 1 大会名 令和2年度 福岡県高等学校空手道新人大会北部・筑豊ブロック予選会
(兼 全九州高等学校空手道新人大会福岡県北部・筑豊ブロック予選)
- 2 主催 福岡県高等学校体育連盟、福岡県教育委員会
- 3 後援 (公財) 福岡県空手道連盟、北九州市、北九州市教育委員会
- 4 主管 福岡県高等学校体育連盟北部・筑豊ブロック空手道専門部
- 5 期日
(1) 競技 令和2年9月19日(土) 13時30分～ (開館=11:00)
男女団体形・男女個人形
令和2年9月20日(日) 9時30分～ (開館=8:00)
男女団体組手・男女個人組手
※今大会は、開閉会式は中止します。
- (2) 予備日 令和2年9月21日(祝・月)
- 6 会場 北九州工業高等専門学校
〒802-0985 北九州市小倉南区志井5丁目20番1号 Tel 093-964-7233
- 7 代表者会議 令和2年9月10日(木) 15時00分～ 北九州工業高等専門学校

8 競技規則

(公財) 全日本空手道連盟競技規定ならびに全国高等学校体育連盟空手道専門部および本大会申し合わせ事項に準ずる。なお、安全具については以下のとおりとする。

(男子) ニューマンフォーVIorVII(全空連検定品)、拳サポーター(全空連検定品)、ボディープロテクター(高体連指定品または全空連検定品)、シガード・インステップガード(高体連検定品)、セーフティキャップ(男子のみ)

(女子) ニューマンフォーVIorVII(全空連検定品)、拳サポーター(全空連検定品)、ボディープロテクター(高体連指定品または全空連検定品)、シガード・インステップガード(高体連検定品)

※帯に関しては、赤・青帯を着用すること。ただし、帯に関する高体連申し合わせ事項を遵守すること。

9 競技方法

(1) 形競技は得点方式、組手競技はトーナメント方式で行う。

(2) 男女個人組手は、体重制によるトーナメント方式で実施する。

①各学校の出場数は従来通り上限4名とし、階級については各学校に一任する。

②各階級トーナメントを行い、各階級の参加数により、県大会出場数(北部筑豊ブロックは5名)を割り振る。

③階級については表のようになるので間違いのないようにすること。当日の測定値幅を下記のように定める。

男子個人組手		女子個人組手	
-55Kg級	55.0Kg未満	-48Kg級	48.0Kg未満
-61Kg級	55.0Kg以上61.0Kg未満	-53Kg級	48.0Kg以上53.0Kg未満
-68Kg級	61.0Kg以上68.0Kg未満	-59Kg級	53.0Kg以上59.0Kg未満
-76Kg級	68.0Kg以上76.0Kg未満	+59Kg級	59.0Kg以上
+76Kg級	76.0Kg以上		

④計量について

- ・男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。

⑤実施日時

- ・9月19日(土) 11:00~13:00
(この時間帯であれば何度でも計量することができる)

⑥実施場所

- ・北九州工業高等専門学校(詳細は当日連絡)

⑦服装

- ・計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ(半袖)、下衣はスパッツ(ハーフサイズ)とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
計測値から0.5Kgを引き、**計測器測定幅として±0.5Kgを考慮する。**
- ・この時間で計量を受けない、またはあらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選手は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。(個人組手には出場できないが、その他の種目には出場できる)また、「体重区分に適していない」というのは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。
(当日は、顧問が同席のうえ、大会審判長または高体連専門委員が計量をおこなう。)

⑧減量指導

- ・試合に出場を希望する選手は、発育・発達過程にある高校生であることを考慮し、無理な減量をおこなってはいけない。((公財)全国高体連空手道専門部HP参照)

(3)組手競技については、各入場時において必ず安全具を用意、着用すること。

(4)団体組手競技は男女とも5人制(補欠3人)とする。

(5)団体組手競技は既定の過半数(3人)で成立する。エントリーは自由に配置できる。

(6)団体形競技は男女とも3人制(補欠3人)とする。

(7)形競技の第1ラウンドは(公財)全日本空手道連盟指定形(第1・2どちらでもよい)とし、第2ラウンド及び3位決定・決勝は得意形とする。各ラウンド毎に演武する形は変えること。但し、第1指定形・第2指定形及び得意形は空手道競技規定(JKF2019年初版)の「付録17:得意形リスト」並びに「付録18:得意形リスト」から選択しなければならない。

(8)形競技の各ラウンド上位進出決定及び3位決定・決勝で同点が出た場合、再演武を行う。演武する形は、そのラウンドで使用した形以外を選択し演武すること。再演武した形は、本戦で使っていないならば、以降のラウンドで演武することができる。

10 引率・監督について

- (1)引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員(地方公務員法第22条の2に示された者)又は校長とする。個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員(地方公務員法

第22条の2に示された者)又は校長とする。

- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

11 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加の資格を得た者であること。
- (3) 申込日時時点で全日本空手道連盟に個人登録された者であること。
- (4) 年齢は、2002年(平成14年)4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成を認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない事由による場合は、空手道専門委員会で調査し、高体連会長の承認があればこの限りではない。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。
- (10) 参加資格の特例
- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外、(3)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技2回限りとする。
- ウ 学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、2学年までとする。
- (11) **本大会は、無観客とする。**
- (12) **会場内に入れるのは、大会役員、大会補助員、10-(1)(2)に示された引率または監督、高校空手道部員およびマネージャーのみとする。**

12 参加制限

- (1) 団体種目 : 組手、形とも男女各校1チームまで。
- (2) 個人種目 : 組手は男女各校4名まで、形は男女各校2名まで。
- (3) 外国人留学生の出場制限 : 団体戦において男女各チーム1名まで。

13 参加申込

- (1) 高体連の参加申込に記載される個人情報について
利用目的等 ・大会競技プログラムまたは福岡県高等学校体育連盟ホームページへの記載
・参加資格の確認(年齢・転校等)
・競技成績については、学校名、氏名、成績(記録)のみを公表する事とする。
参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記利用目的に使用する旨の承諾を得たものとする。
- (2) 大会実施要項に従い学校長の責任において申し込む。
- (3) 申込み先 〒803-0837 北九州市小倉北区中井口5-1
真颯館高等学校 梅崎 龍司 宛 TEL 093-561-1231
また、プログラム作成業務のため、郵送と同じものを以下のメールアドレス宛に送ること。
ru0728@gmail.com 真颯館高等学校 梅崎 龍司 宛
- (4) 締め切り 令和2年9月4日(金) 必着のこと

14 表 彰 団体，個人種目共に第3位までに賞状を授与する。

15 組み合わせ及び取得制限

- (1) 組み合わせは，北部・筑豊ブロック専門部・各校顧問の合同会議において厳正に行う。
- (2) 試合結果により団体種目は4校，個人種目は5名（但し女子個人形は6名）まで県大会への出場を認める。
- (3) 個人組手の各階級県大会出場者数の振り分けは北部・筑豊ブロック専門部・各校顧問の合同会議で協議する。

16 そ の 他

- (1) 選手は必ず上記10の(1)に引率されていなければならない。
- (2) 参加選手は，道衣左胸に学校名，左袖に県名を黒または紺で明記すること。但し，スクールカラーはよい。
- (3) 選手の髪型・服装については全国高等学校体育連盟空手道専門部申し合わせ事項を遵守のこと。
- (4) 道衣のネームは，黒色の刺繍とし，個人が特定できるよう漢字で苗字もしくはフルネームが望ましい。
- (5) 監督は**トラックスーツまたはスーツ(クールビズ)**で，右上腕部に「監督」腕章をつけること。または，空手衣を着用し，左胸には学校名，左袖に県名を明記し，右上腕部に「監督」腕章をつけること。
- (6) 服装，試合応援態度等，マナーの向上を図るべく，各校での指導を徹底すること。
- (7) 選手は健康保険証を持参のこと。
- (8) 審判会議を大会1日目は12時00分より，2日目は9時00分より行います。
- (9) 専門部・各校顧問の合同会議を大会1日目は12時30分より，2日目は9時30分より行います。
- (10) ゴミは**各校で**必ず持ち帰ること。

17 新型コロナウイルスに関する注意事項（抜粋）※詳細は別紙をご覧ください

- (1) 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書を取り、校長責任のもと申し込みを行う。同意書は引率責任者が各学校で保管すること。またこの同意書は選手のみでなく、補助員、選手以外の空手部員、マネージャーなど、大会当日に会場へ入るすべての生徒から取ること。
- (2) 会場に入る場合は、大会当日受付に準備している、「チェックリスト」に必要事項を記入し、大会役員の許可を得て入場すること。
- (3) 大会参加者は、必ずマスクを持参すること。不所持の場合は会場への出入りを禁止する場合がある。
- (4) 競技中以外は、必ずマスクを着用し、密を避けた言動を心掛けること。
- (5) 会場への出入りの際には、備え付けの消毒液を使い、入念に手指消毒を行うとともに、こまめな手洗いを心掛けること。
- (6) 大会中は、大きな声での会話や応援は避けること。
- (7) 感染防止のため、主催者が決めたその他の措置の遵守ならびに指示に従うこと。
- (8) 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとり、対面を避け、会話は控えめにすること。
- (9) 体調不良の場合は、速やかに大会役員に連絡し指示を受けること。

※問合せ先
小倉工業高等学校 山村 宗義
連絡先 093-571-1738 (学校代表)